

共にしあわせ産みだす党 日本共産党
市議団ニュース

第1992号 2021年09月19日

日本共産党 根室市議団

根室市宝林町4-203 Tel.0153-23-6023

市が福祉避難所（福祉交流館）ではじめての開設訓練を実施

9月7日、根室市は「市総合防災訓練」に合わせて福祉避難所を開設する訓練を実施しました。根室市では初めての試みとなり、実際に福祉避難所としての設営等を行うことで、あらためて様々な課題も見えてきたとのことでした。

今回、福祉避難所の開設訓練を実施したのは「福祉交流館」（旧昭和児童館）です。

市担当課によると、今回の訓練には市職員その他、福祉交流館で活動している地域活支援センターの利用者さんとスタッフさん等が参加し、また地域の方々も見学に訪れました。

敷地内に昨年設置された防災倉庫から資機材を施設に運び入れ、感染防止のためのパーティションの設置や仕切りテント、簡易ベッドや段ボールベッド等の避難所を設営するための訓練を実施しました。パーティションを設置すると12人分のベッドを配置できたそうです。

今後も避難訓練の継続と内容のさらなる充実を期待します

災害時に何らかの支援を必要とする方の受け入れ先として、根室市では民間の介護施設など含めて、福祉避難所の指定を進めています。これまで実際の災害時に運用されたケースはありません。福祉避難所の運営マニュアルの整備や避難訓練の実施などが課題と思っていました。今回、市として初めて福祉避難所の訓練が実施されたことは画期的な取り組みだと思っています。

市担当課によると実際に訓練を実施したことで、「当初準備していた簡易ベッドが使いづらく、段ボールベッドを増やすこと」や、「施設の出入口のスロープに手すりがないため新たに設置が必要」など、書面上では分からない様々な課題が浮き彫りになったそうです。

また「こうした避難訓練は毎年、実施していきたい」との抱負も述べていました。

今後について、災害時要支援者を実際に移送する手順や、避難者を具体的に想定した資機材の準備、また他の民間施設の福祉避難所と連携した運営など、さらなる充実が図られることを筆者は期待しています。



福祉避難所を設営する当日の様子
(提供：根室市撮影)

根室市の新型コロナのワクチン個別接種の予約がすごい勢いで進んでいます。予約開始した9月6日に、当初の定員276人分がほぼ一杯に。それ以降も申し込みが殺到したため、市は市内医療機関と調整し、予約枠をさらに拡大しました。しかし、その拡大した予約枠についても、ほぼ定員一杯に近いくらい予約が埋まってきているとのことでした(9月15日時点)。

また市立根室病院で実施している小学6年生と中学生についても、さらに申し込みが増え、現在では100人ほどの予約状況となっているそうです。



新型コロナのワクチン個別接種 予約枠増も、ほぼ一杯になる勢い 希望者は市まで問い合わせ下さい



市内の接種割合は都市部に比べて高い水準です。それでも仕事の都合で、例えば「コンブに影響すると困るから見合わせていた」等、ワクチン接種を希望しながらもこれまで受けていなかった方は、まだ一定数いるのではないかと考えられます。

市ワクチン接種対策室は、「市内の医療機関側の体制もかなり厳しい状況になってきている」と現状を説明します。

それでも引き続き予約枠の拡大にむけて、市内の医療機関と日程調整を進めていることから、「接種を希望する方は、まずワクチン接種対策室まで問い合わせしてほしい」と話していました。

新しい根室市議会の会派構成が決まりました

会派名	代表等	幹事長
大地	遠藤輝宣	富川歩
会派 紬	久保田陽	
日本共産党根室市議会議員団	鈴木一彦	橋本竜一
創 新	足立計昌	五十嵐寛
市政クラブ	工藤勝代	中村久
市民クラブ	本田俊治	
無所属	保坂いづみ	西田浩一
		壺田重夫
		須崎和貴
		田塚不二男
		永洞均